

赤潮情報第91号

（八代海：ヘテロカプサ サーキュリスカーマ 警報 続報）

熊本県水産研究センター 浅海干潟研究部

TEL0964-56-2613 FAX56-4533

ヘテロカプサ サーキュリスカーマが最大180細胞 確認されており、引き続き警戒が必要です。

本日、熊本県が調査したところ、ヘテロカプサ サーキュリスカーマが天草市楠浦湾で海水 1mL 当たり最大 180 細胞が確認されました（細胞数は下図を参照して下さい）。

本種は貝類に有害ですので、周辺海域で貝類の養殖をされている方は、海の色の変化や養殖している貝の状態に十分注意して、作業等を行ってください。

※数字は水深0m, 2m, 5m, 10m 層の海水1mL 当たりのヘテロカプサ サーキュリスカーマの細胞数です。
×印は全ての採水層でヘテロカプサ サーキュリスカーマが0細胞の調査点です。

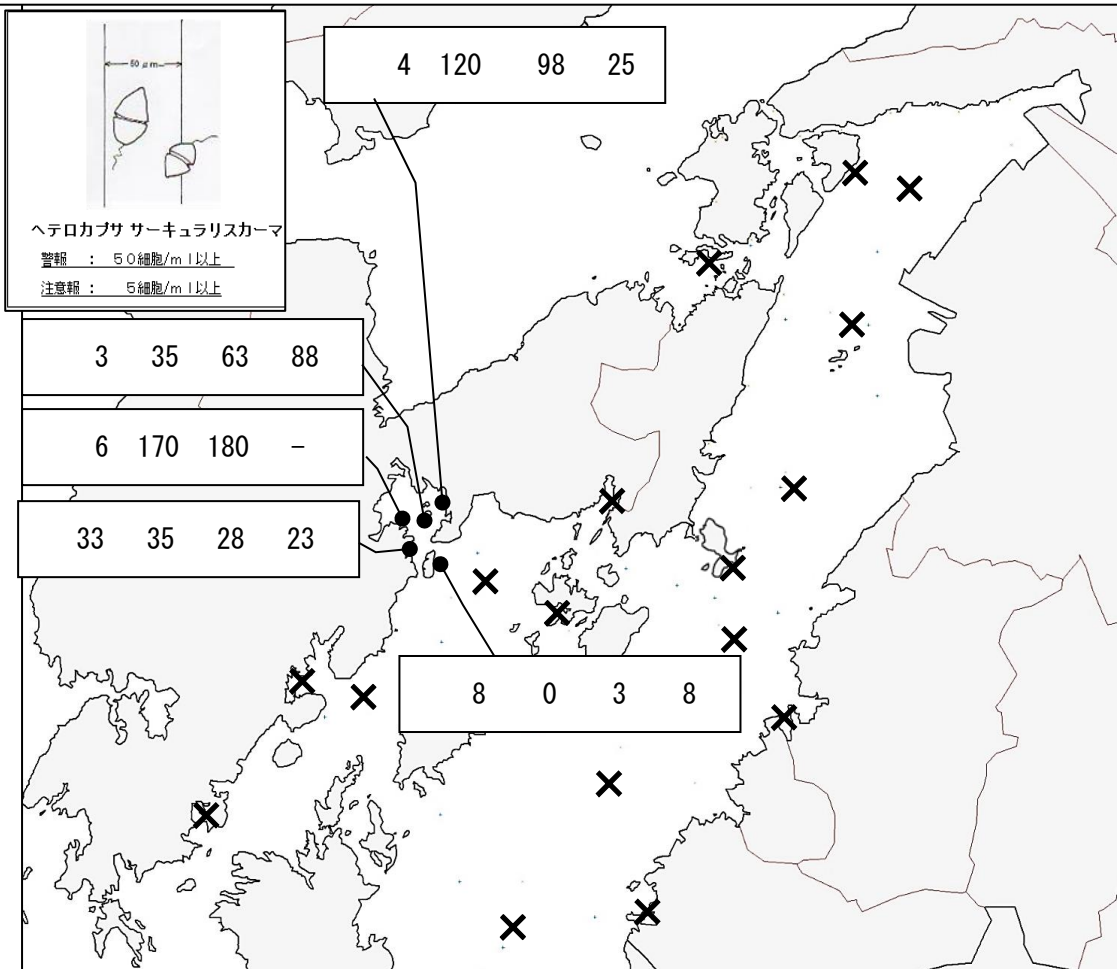


図 赤潮発生海域

赤潮情報 ホームページ



赤潮ネット



調査結果については、赤潮情報 ホームページや赤潮ネットでも確認できますので、ご利用ください（ホームページの更新に時間を要する場合があります）。

赤潮情報 ホームページ <https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/95/1794.html>

赤潮ネット https://akashiwo.fra.go.jp/public/kaikuInit.php?qkaiku_id=1&sid=1